



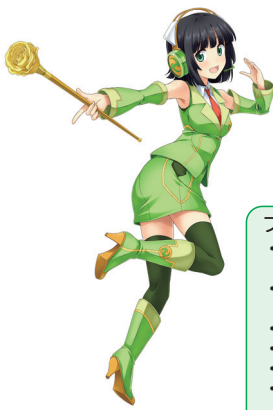
多くのファンが支える精華町の地域創生プロジェクト ～町の広報キャラクター「京町セイカ」がつなぐ町と人～

■文化と科学の融合を目指す精華町

京都府精華町は、文化・学術・研究の新しい拠点の形成を目指す関西文化学術研究都市（愛称：けいはんな学研都市）の中心地で、国立国会図書館関西館や大手民間企業の研究施設などが多く立地する。近年は町の重点施策の一つとしてアニメやマンガなどのサブカルチャー文化を起点とした観光振興への取り組みや、クリエイター支援施設の整備など、新たな文化の発信拠点としてのまちづくりに力を注いでいる。

■未来から来た広報担当職員「京町セイカ」が誕生

2013年、町は広報をはじめとする情報発信の強化を進め、様々なコンテンツで使用できるオリジナルの広報キャラクターを作成することとなった。当時全国各地の自治体では多くのゆるキャラが活躍していたが、同じようなゆるキャラを作成しても埋没してしまうと考えた町は、漫画作成ソフトを開発する企業に依頼。企業や役員担当者たちとの試行錯誤の末、萌えキャラ「京町セイカ」が誕生した。



プロフィール
 ・名前：京町 セイカ
 （きょうまち せいか）
 ・身長：151.5センチ
 （イチゴイチゴ）
 ・誕生日：7月5日
 ・年齢：23歳
 ・仕事：精華町の広報活動
 ・町章と同じグリーンが好きで、
 服装は何を着てもいつも緑色！

『過去・現在・未来』を行き来する未来からの使者」というコンセプトにより誕生した「京町セイカ」は、当初なかなか浸透しなかった。行政からの発信に限界を感じた町が、誰でも自由で使用できる「京町セイカ」の3Dデータを新たに作成したところ、SNSなどで発信するファンが増加した。結果、町の広報誌だけでなく日本最大の同人誌即売会「コミックマーケット（コミケ）」に自治体として出展するなど、キャラクターだけでな

く町自体を多くの人が知るきっかけづくりとなった。

■ふるさと納税を活用し新たなファンを創出

2015年、町はふるさと納税を活用した「京町セイカ」のクラウドファンディングを立ち上げた。これまでに音声合成ソフトの制作や歌声合成ソフトを使用した歌声の元となるデータベースの作成などに利用され、毎回当初の目標金額を大幅に超える寄付が短期間で集まるなど注目を集めている。



ふるさと納税をPRする「京町セイカ」

2023年9月23日には、京町セイカ誕生から10周年の記念企画として「歌は時空（とき）を超えて～10th anniversary～京町セイカ with Style KYOTO 管弦楽団オーケストラコンサート」が開催される。当日はクラウドファンディングで開発した先端技術による立体的にキャラクターが動く3D映像や、AI技術を搭載した最新の音声合成システムによりオーケストラの演奏に合わせてクラシックやオリジナルソングを歌うなど、新しい「京町セイカ」に出会うことができる。

担当課では「京町セイカが精華町を知るきっかけとなり、ふるさと納税も年々増加している。今後も様々なイベントに参加し、学研都市ならではのキャラクターとしてより多くのファンを増やしていきたい」と京町セイカの更なる活躍に期待を寄せている。

（村井 渚、清原香織）



京町セイカ10周年記念で開催されるオーケストラコンサート



オーケストラコンサートの案内ページ

【お問い合わせ先】

京都府精華町役場 総務部 財政課

- ・所在地：京都府相楽郡精華町南稲八妻北尻70番地
- ・TEL：0774-95-1914 ・FAX：0774-93-2233
- ・HP：https://www.town.seika.kyoto.jp